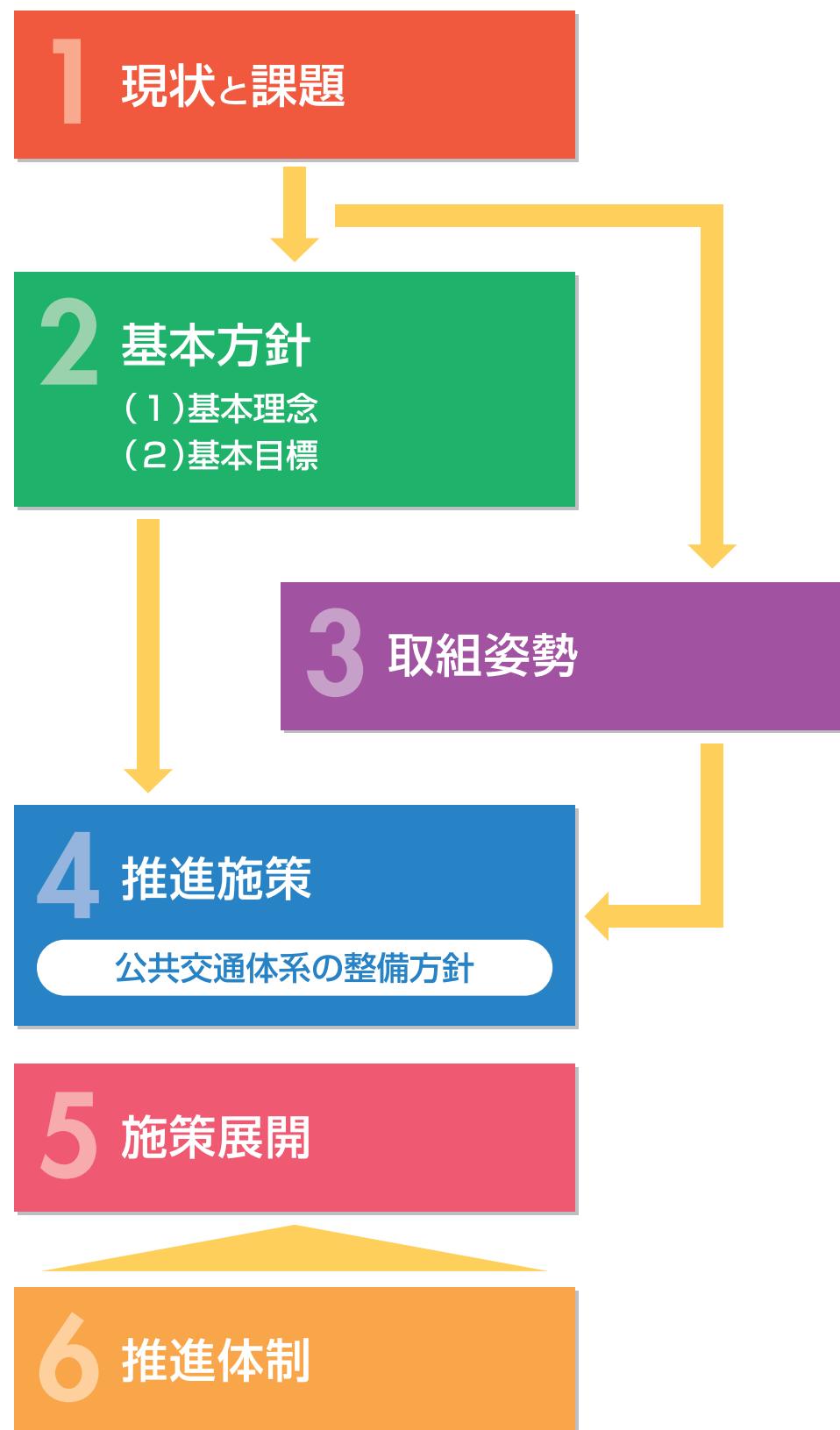


構成図



序　論

計画策定の趣旨

多くの市民が、日常生活の移動手段を自家用車(マイカー)に強く依存しており、その傾向は今後とも進行することが予想されます。

マイカーは、市民生活に様々な豊かさをもたらしましたが、同時に、公共交通の衰退や自然環境の悪化、交通事故の増大、人口や都市機能の郊外化による中心市街地の活力低下や社会資本維持コストの増大など、様々な社会問題を引き起こしています。

また、高齢化の急速な進行に伴い、車を利用できない交通弱者や高齢者ドライバーのこれまで以上の増加が予想されており、将来にわたって、市民誰もが安全・安心に住み続けられるよう、公共交通による移動手段の確保が課題となっています。

さらには、公共交通は、移動手段の確保や環境負荷の軽減としてのみではなく、まちづくりや地域づくりを進めていく上でも重要な役割を担っています。

このようなことから、本市の将来を見据え、これから取り組んでいく交通政策の指針として「山口市市民交通計画」を策定しました。

計画の名称

市民、事業者、行政が協働して、市民ニーズに合った公共交通を創り、人や地域に活力をもたらし、住み良い山口市を築いていく、という意味を込めて、「山口市市民交通計画」とします。

計画の期間

山口市総合計画との整合性を図り、平成30年(2018年)を目標年次とし、平成19年度から平成29年度までを計画の推進期間とします。



計画の位置づけ

山口市市民交通計画は、山口市総合計画を上位計画とし、交通の視点から、その実現に向けての有効な方策を定めるとともに、他の分野政策・計画との連携・連動を図ります。

本計画は、交通政策の進路の全体像を示すものとして、本市の将来を展望し、望ましい交通のあり方を明らかにするとともに、合併前の旧市町がそれぞれに進めてきた交通施策を再構築し、効果的・効率的に進めていく上での基本となります。

